

三原市の財政状況

平成 16 年度決算の状況及び平成 17 年度予算の上半期の執行状況について

平成 16 年度の決算の状況

(1) 一般会計決算の状況

歳入合計	524 億	2,381 万	8 千円
歳出合計	507 億	8,228 万	5 千円
歳入歳出差引額	16 億	4,153 万	3 千円
旧市町形式収支（重複計上分）	5 億	5,892 万	7 千円
実際の形式収支	10 億	8,260 万	6 千円
翌年度に繰り越すべき財源	5 億	635 万	5 千円
実質収支	5 億	7,625 万	1 千円
単年度収支	5 億	7,625 万	1 千円

（単年度収支とは、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を引いたもの）

最初に、この一般会計決算の状況は、旧三原市・旧本郷町・旧久井町・旧大和町の各打切決算（平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 21 日まで）と、新三原市の暫定決算（平成 17 年 3 月 22 日から平成 17 年 3 月 31 日まで）を集計した数値により算出しています。

平成 16 年度の実質収支は、5 億 7,625 万 1 千円の黒字、単年度収支では、5 億 7,625 万 1 千円の黒字決算となっています。

歳入決算は、第 1 表のとおり、524 億 2,381 万 8 千円となっています。

市税が、145 億 5,947 万 2 千円で、構成比 27.8%です。

地方交付税は、88 億 9,561 万 4 千円で、構成比 17.0%です。

このうち、普通交付税は、75 億 5,930 万 7 千円で、構成比 14.4%です。

また、特別交付税は、13 億 3,630 万 7 千円で、構成比 2.6%です。

市債の主なものは、次のとおりです。

農村振興基盤整備事業	3 億	7,200 万円
電算システム統合事業	3 億	2,830 万円
久井工業団地整備事業	1 億	4,820 万円
緊急地方道路整備事業（道路）	1 億	3,410 万円
地方特定道路整備事業（道路）	3 億	2,260 万円
緊急地方道路整備事業（街路）	4 億	8,560 万円

本郷生涯学習センター建設事業	9億	1,400万円
久井文化センター建設事業	1億	9,200万円
県施行事業（港湾）		9,010万円
減税補てん債	2億	890万円
臨時財政対策債	17億	6,380万円
平成7・8年度減税補てん債借換債	18億	3,950万円

歳入決算の財源別構成比で見ると第2表のとおり、自主財源は255億9,491万4千円(48.8%)、依存財源は、268億2,890万4千円(51.2%)です。

一方、歳出決算は、第3表のとおり、507億8,228万5千円となっています。

目的別歳出決算の主なものでは、福祉関係の民生費が、98億6,040万3千円で全体の19.4%を占め、高齢者福祉、心身障害者福祉、児童福祉等の充実を図りました。これには、平成12年度から始まった介護保険特別会計に9億1,457万1千円、老人保健医療特別会計に9億6,720万9千円の繰出を含んでいます。土木費は、73億5,857万6千円で全体の14.5%を占めています。主な事業は、道路新設改良費13億5,361万6千円、河川改良費1億1,515万9千円、港湾改良費1億430万8千円、街路事業費15億7,418万円、住宅建設費2億3,190万2千円等で、生活関連施設整備を重点的に取り組みました。

教育費は、48億3,707万1千円で全体の9.5%を占め、義務教育環境の充実、生涯学習の推進、障害児教育の充実、社会教育の促進等を図りました。

諸支出金は、12億3,247万8千円で全体の2.4%を占めています。このうち、大部分は旧市町借入金返済金（旧市町の打切決算における赤字に対して一時借入金で対応し、その借入金を返済したもの）となっています。

一般会計の決算は実質収支が5億7,625万1千円の黒字となり、歳出において、各種施策の所期の目標を十分達成できたものと受け止めています。

性質別歳出決算では、投資的経費が、105億3,589万9千円（構成比20.8%）となりました。主なものは農村振興基盤整備事業が3億7,976万1千円、電算システム統合事業が9億187万9千円、工業団地整備事業が2億4,940万1千円、緊急地方道路整備事業（道路）が3億2,737万1千円、地方特定道路整備事業（道路）が3億5,936万7千円、道路新設改良事業が4億6,214万6千円、街路建設事業が3億1,280万円、緊急地方道路整備事業（街路）が10億8,970万1千円、三原運動公園建設事業が1億7,633万円、公営住宅建設事業が2億1,050万8千円、本郷生涯学習センター整備事業が14億2,385万円、久井文化センター建設事業が3億7,942万5千円となっています。

一方、公債費等の義務的経費のウエイト（45.8%）は高い傾向にあり、今後も行財政改革を推進し、効率的な財政運営を行っていく必要があります。

(2)特別会計決算の状況

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の収入をもって特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合において設置するものであります。

特別会計決算（17会計）は、第4表のとおりです。

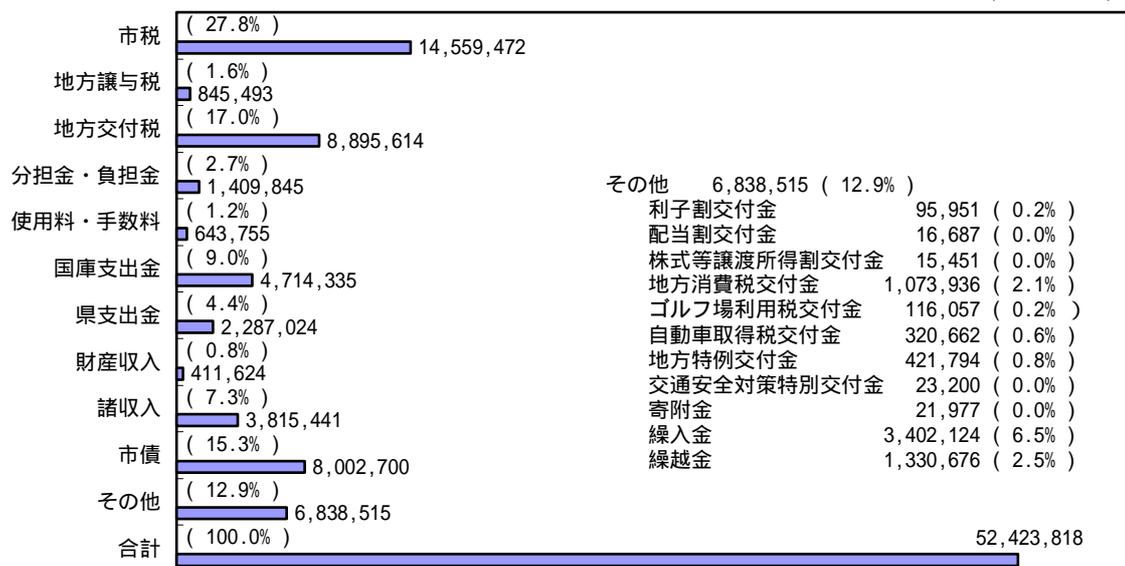
歳入合計	375億	1,071万	円
歳出合計	356億	7,955万	7千円
歳入歳出差引額	18億	3,115万	3千円
旧市町形式収支（重複計上分）	7億	6,772万	4千円
実際の形式収支	10億	6,342万	9千円
翌年度に繰り越すべき財源		6,314万	7千円
旧市町合算収支額	6億	1,675万	2千円
実質収支	3億	8,353万	円
単年度収支	3億	8,353万	円

（単年度収支とは、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を引いたもの）

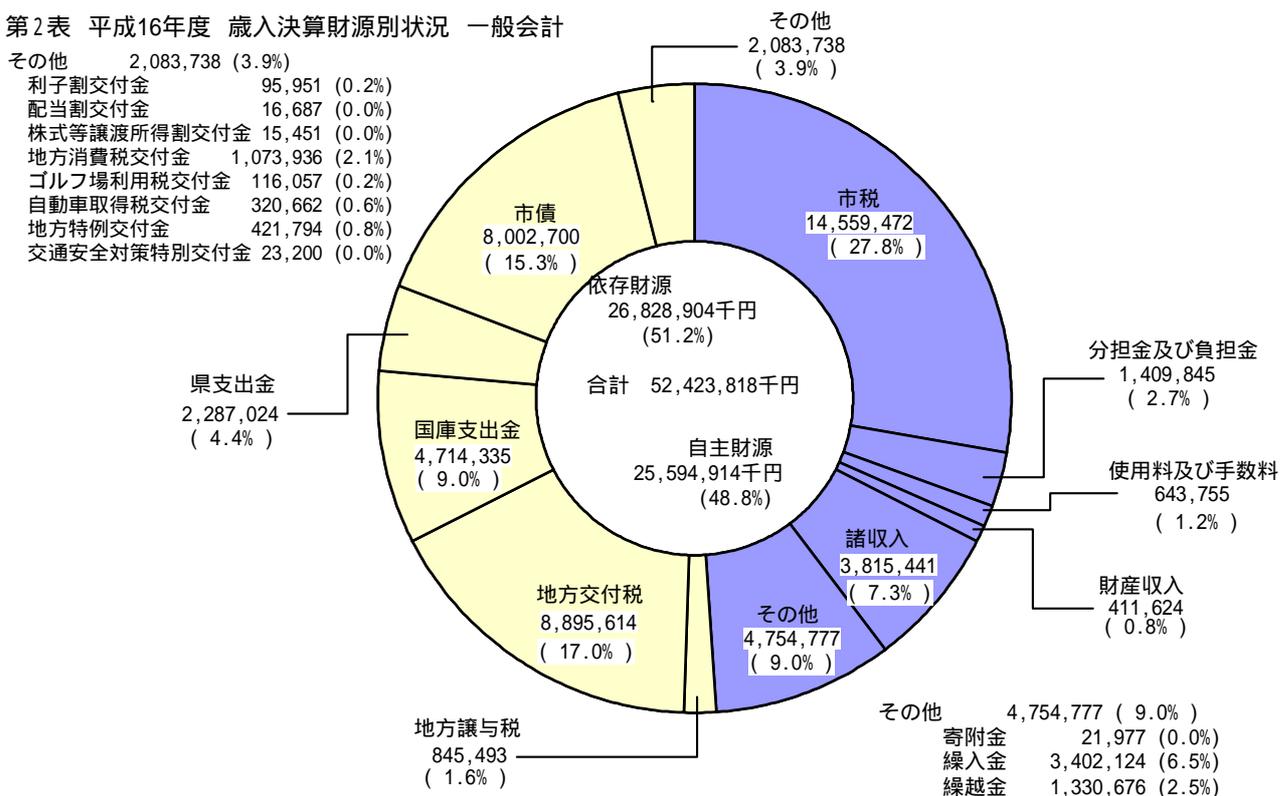
特別会計全体では、実質収支は、3億8,353万円の黒字、単年度収支は、3億8,353万円の黒字となっています。

第1表 平成16年度 歳入決算状況 一般会計

(単位：千円)



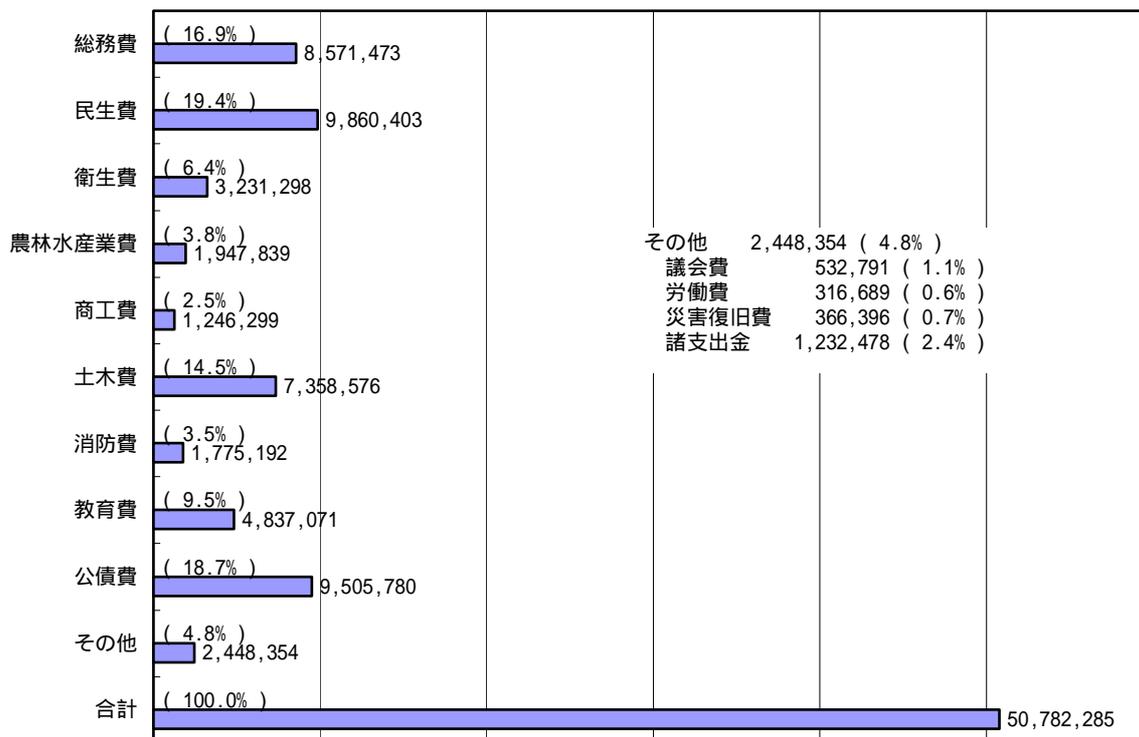
第2表 平成16年度 歳入決算財源別状況 一般会計



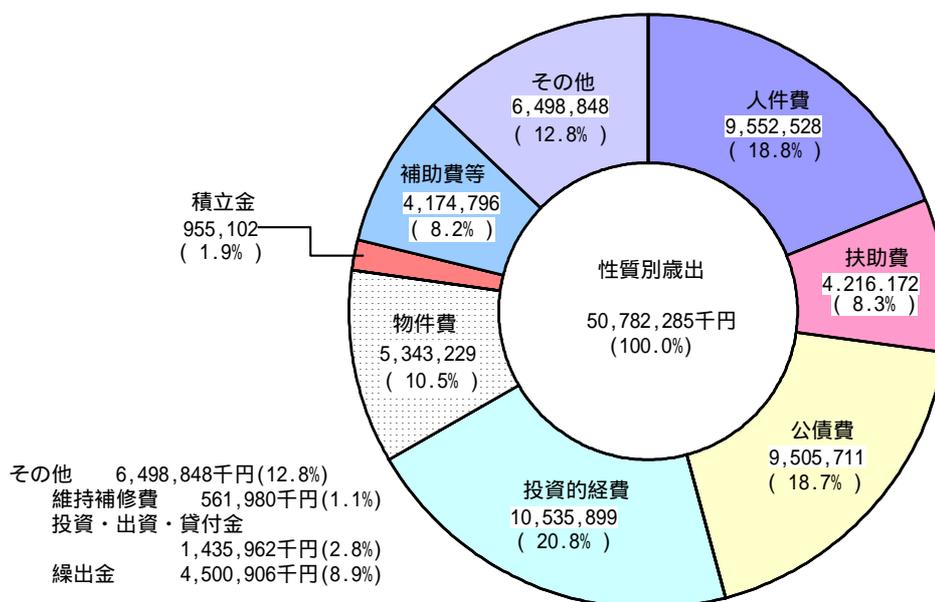
第3表 平成16年度 歳出決算の状況 一般会計

(ア)目的別歳出

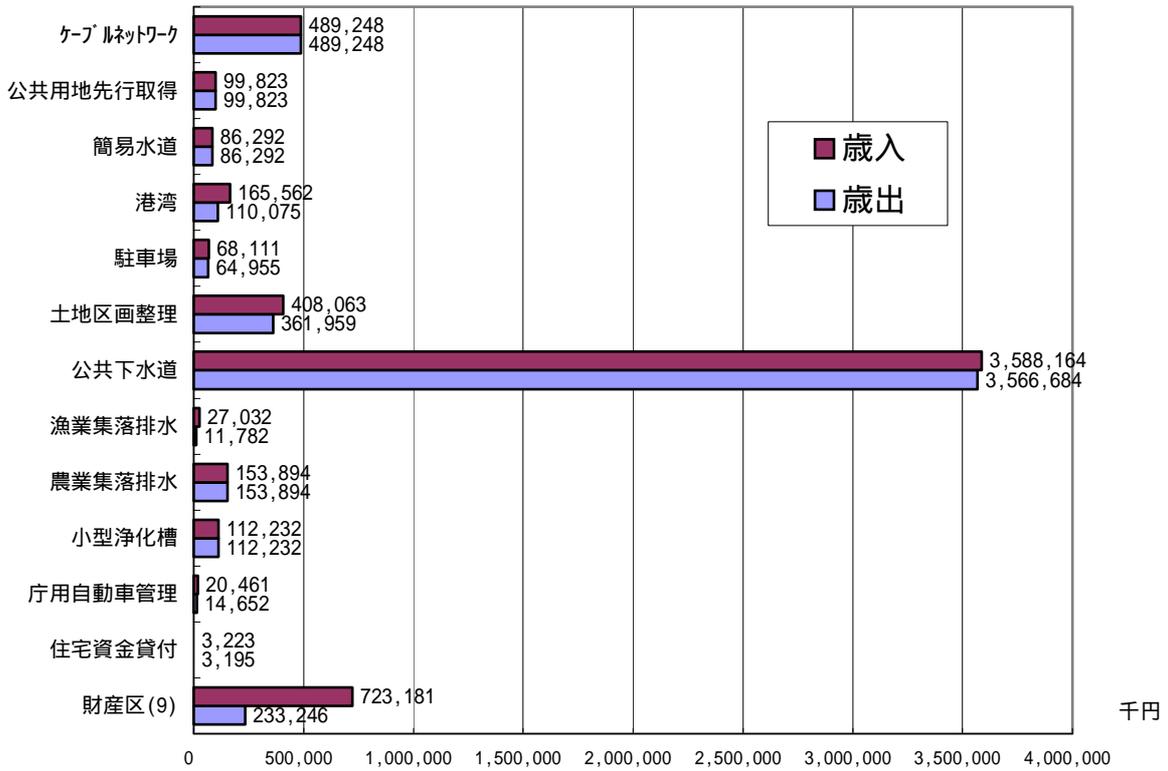
(単位：千円)



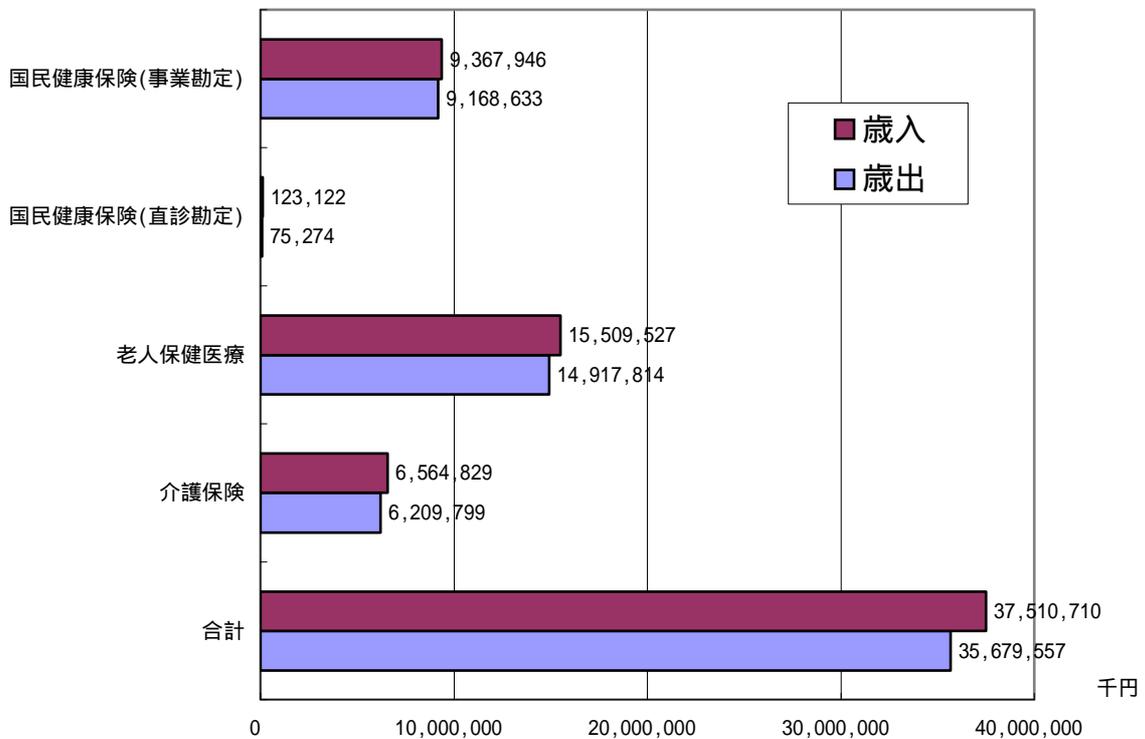
(イ)性質別歳出



第4表 平成16年度 歳出決算の状況 特別会計



(注) 公共下水道事業には、旧三原市の漁業集落排水事業を含む。



平成 17 年度予算の補正及び執行状況について

(1) 平成 17 年度予算の補正の状況

平成 17 年度予算は、4 月から 6 月までの 3 か月間については暫定予算（本予算までのつなぎ予算）を組みました。その後、6 月議会に年間予算を提出し、可決されました。

○ 一般会計

当初予算額では、469 億 1,700 万円の通年予算を編成しておりますが、当初予算成立後に、新たに必要となった事業を厳選して、補正予算を計上しました。また、前年度からの繰越事業費と併せ、9 月末現在の予算総額は 488 億 3,211 万 3 千円となっております。

当初予算額	469 億 1,700 万 円		
補正予算額	4 億 5,587 万 円	補正予算の内訳	
繰越明許費等	14 億 5,924 万 3 千円	第 1 号	6,305 万 円
9 月末予算額	488 億 3,211 万 3 千円	第 2 号	1 億 7,507 万 円
		第 3 号	2 億 1,775 万 円

主な補正予算は、つぎのとおりです。

・庁舎管理費	5,200 千円
・離島振興費	2,500 千円
・衆議院議員総選挙費	63,050 千円
・環境保全対策費	15,000 千円
・ため池等整備事業費（県補助枠の増加）	35,340 千円
・県営経営体育成基盤整備事業費（県補助枠の増加）	10,600 千円
・基幹水利施設整備事業費（新規県補助の採択）	40,400 千円
・緊急地方道路整備事業費（道路）（国庫補助枠の増加）	99,300 千円
・道路改良県補助事業費（県補助枠の増加）	1,000 千円
・街路建設費（円一皆実線）（国庫補助枠の減少）	10,000 千円
・緊急地方道路整備事業費（円一皆実線）	10,000 千円
（国庫補助枠の増加）	
・災害復旧費（現年補助）農林施設	42,000 千円
・ " （現年単独） "	23,600 千円
・ " （現年補助）土木施設	43,600 千円

・ ” (現年単独) ” 64,600 千円

○ 特別会計

当初予算総額は、392 億 6,303 万 5 千円でありましたが、前年度からの繰越事業費及び補正予算により、9 月末現在の予算総額は 400 億 5,844 万 6 千円となっています。

特別会計の予算状況は、第 5 表のとおりです。

主な補正予算は、つぎのとおりです。

土地区画整理事業特別会計

- ・ 街路建設費 (棕本三太刀線) 7,000 千円
- ・ 緊急地方道路整備事業費 (棕本三太刀線) 7,000 千円

漁業集落排水事業特別会計

- ・ 漁業集落排水施設建設費 46,000 千円

介護保険特別会計

- ・ 介護認定審査会費 4,590 千円
- ・ 施設介護サービス給付費 101,258 千円
- ・ 特定入居者介護サービス費 100,628 千円
- ・ 償還金 13,489 千円

本郷町北方財産区特別会計

- ・ 一般会計繰出金 1,875 千円

第5表 予算の状況 特別会計

単位 千円

特別会計名	当初予算額	繰越 明許費等	補正予算額				予算現額
			第1号	第2号	第3号	補正額計	
ケーブルネットワーク事業	109,950						109,950
公共用地先行取得事業	1,740,430						1,740,430
簡易水道事業	117,450						117,450
港湾事業	141,120	13,125					154,245
駐車場事業	68,210						68,210
土地区画整理事業	271,500	28,251					299,751
公共下水道事業	4,533,140	688,081					5,221,221
漁業集落排水事業	54,910		46,000			46,000	100,910
農業集落排水事業	142,790						142,790
小型浄化槽事業	122,630						122,630
国民健康保険(事業勘定)	9,695,920						9,695,920
国民健康保険(直診勘定)	79,680						79,680
老人保健医療	15,529,845						15,529,845
介護保険	6,558,650		18,079			18,079	6,576,729
財産区(8)	96,810		1,875			1,875	98,685
計	39,263,035	729,457	65,954			65,954	40,058,446

(2)平成 17 年度予算の執行状況

平成 17 年 9 月末日現在の予算の執行状況はつぎのとおりです。

一般会計は、第 6 表のとおり

予算総額	488 億 3,211 万 3 千円	
収入済額	198 億 6,681 万 円	(執行率 40.7%)
支出済額	159 億 825 万 4 千円	(執行率 32.6%) であります。

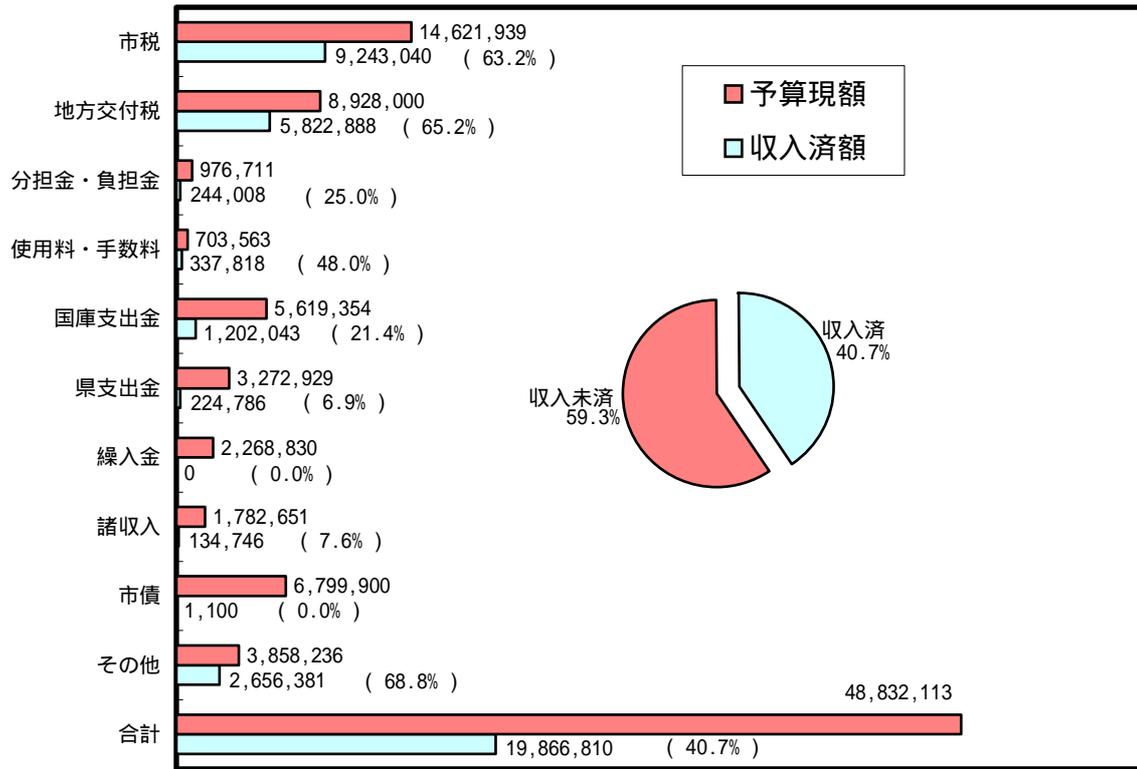
執行率の高いものを目的別にみますと、労働費 98.9%、商工費 65.4%、諸支出金 61.3%、公債費 42.7%、議会費 41.8%、消防費 38.1%、衛生費 37.8%、民生費 31.9%などとなっています。

特別会計(15 会計)は、第 7 表のとおり

予算総額	400 億 5,844 万 6 千円	
収入済額	128 億 6,392 万 4 千円	(執行率 32.1%)
支出済額	150 億 6,938 万 2 千円	(執行率 37.6%) であります。

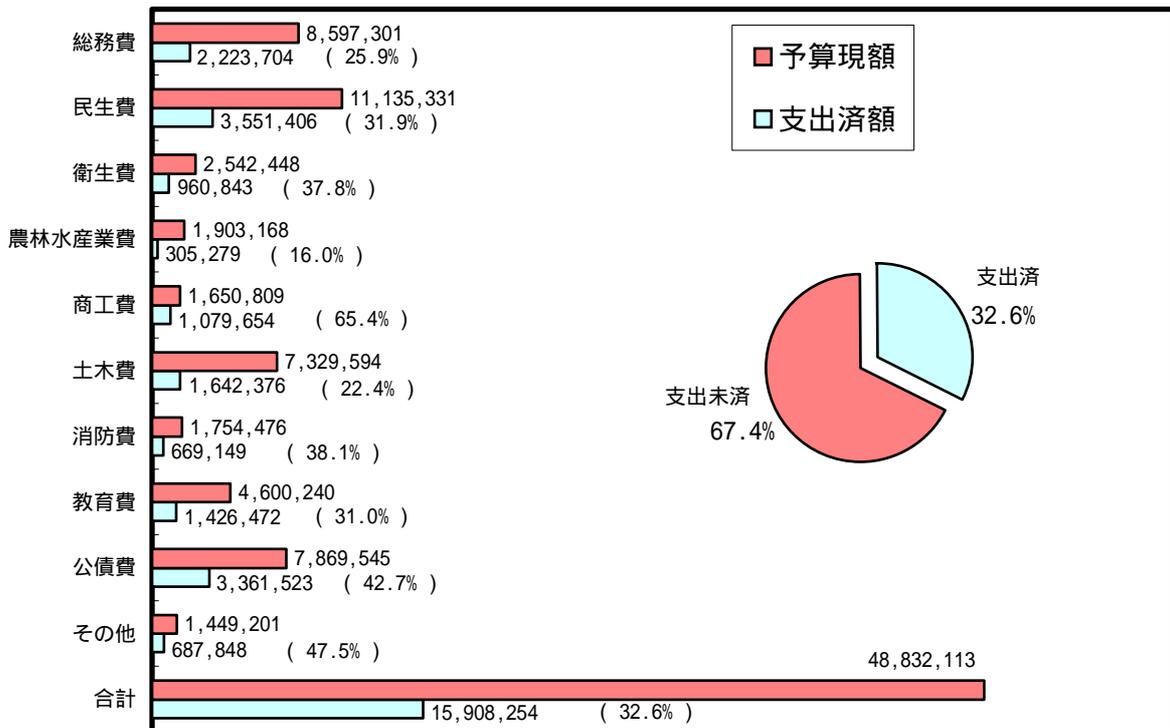
第6表 平成17年度予算の執行状況 一般会計 歳入

平成17年9月末 (千円)

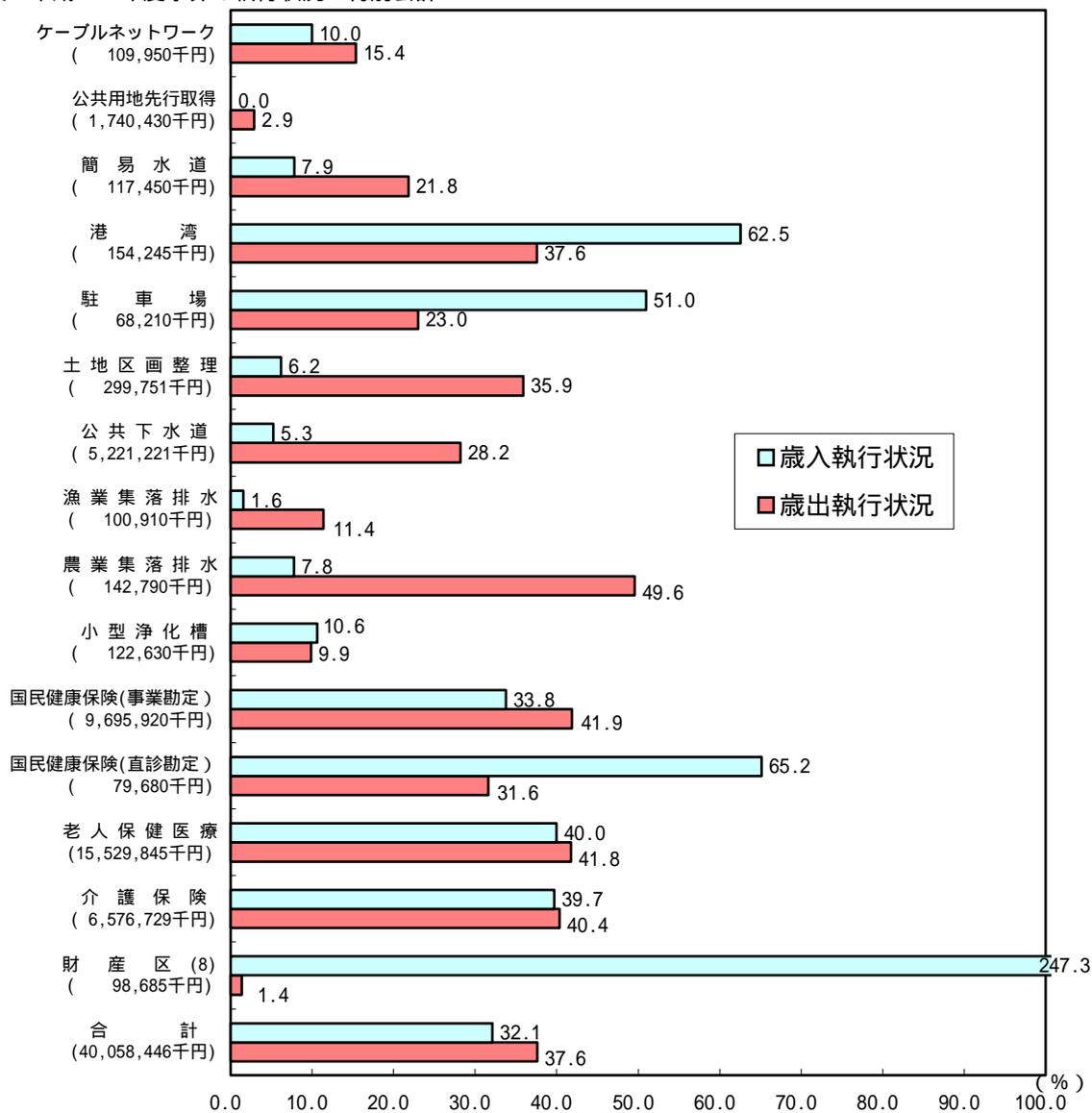


平成17年度予算の執行状況 一般会計 歳出

平成17年9月末 (千円)



第7表 平成17年度予算の執行状況 特別会計



市債及び一時借入金の状況について

○ 市債（地方債）

市債は、学校その他の施設、道路・河川などの公共施設の建設や災害復旧などで一度に多額の資金を必要とする事業を実施する場合、その財源に充てるため発行が認められている長期の借入金です。

一般会計の9月末の現在高は、640億8,029万6千円ですが、この償還については、普通交付税に50%程度が算入される見込みであります。

特別会計では、公共用地先行取得事業特別会計は5,392万1千円、簡易水道事業特別会計は3億6,122万9千円、公共下水道事業特別会計は177億4,728万円、漁業集落排水事業特別会計は3億8,291万1千円、農業集落排水事業特別会計は10億2,259万1千円、小型浄化槽事業特別会計は9,100万円が、9月末の現在高となっております。

平成17年9月末における全会計の市債現在高は、837億3,922万8千円です。

会計別内訳は、第8表のとおりです。

○ 一時借入金

一時借入金は、歳出予算を執行するうえで、一時的な歳計現金に不足を生じたとき、短期の借入を行ってその不足を補うためのものです。

平成17年9月末の一時借入金現在高は、一般会計、特別会計ともありません。

第8表 市債の現在高の状況

単位 千円

会 計 名	平成16年度末 現在高	平成17年度上半期 元金償還額	平成17年度上半期 借入額	平成17年9月末 現在高
一 般 会 計	66,722,348	2,643,152	1,100	64,080,296
公共用地先行取得事業	124,893	70,972		53,921
簡易水道事業	370,423	9,194		361,229
公共下水道事業	18,091,354	344,074		17,747,280
漁業集落排水事業	387,850	4,939		382,911
農業集落排水事業	1,066,578	43,987		1,022,591
小型浄化槽事業	91,000			91,000
合 計	86,854,446	3,116,318	1,100	83,739,228

市民の税負担の状況

平成 16 年度決算における市税は、145 億 5,947 万 2 千円となっています。

平成 16 年度決算における市民一人当たりの税負担額は、第 9 表、第 10 表のとおり、年税額 13 万 9,413 円となっています。

第 9 表 決算における税の負担状況

区 分	平成 16 年度決算額	
	金 額 千円	一人当り 円
市 民 税	4,935,335	47,258
個人	3,416,701	32,716
法人	1,518,634	14,542
固定資産税	7,874,136	75,398
軽自動車税	205,527	1,968
市たばこ税	645,745	6,183
特別土地保有税	1,116	11
入 湯 税	22,217	213
都市計画税	875,396	8,382
計	14,559,472	139,413

平成 17 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口

104,434 人

第10表 市民1人当たりの税負担割合（平成16年度決算）

（単位：円）

